

市議会だより



12月定例会

令和7(’25)年2月1日発行



「山伏の寺 本学院の節分行事」 P.12 に説明があります。

主な内容

- ◎12月定例会
議案審議と採決結果
2ページ
- ◎一般質問(15人)
3～10ページ
- ◎議会報告会
10ページ
- ◎常任委員会の活動報告
11ページ
- ◎議会からのお知らせ
編集後記ほか
12ページ

◆ 12 月 定 例 会 日 程 ◆

- 12月 3日 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 6日 総務常任委員会
- 9日 民生経済常任委員会
- 10日 建設文教常任委員会
- 11日 一般質問(糸井・渡邊光子・細谷・岩崎・渡邊広美)
- 12日 一般質問(砂川・浦田・近本・仲又・にいつま)
市長追加提出議案の上程及び説明
- 13日 一般質問(江森・榊・渡辺まや・北村・須山)
- 18日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明及び表決、議員(委員会)提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、川島桶川資源循環組合議会議員の選挙、閉会

条例等の議案審議

令和6年第4回(12月)定例会は、12月3日から18日までの16日間開催されました。
今定例会では、市長提出議案16件、議員提出議案1件が提案され、審議されました。

条例等

各常任委員会に付託された条例等についての審査の際の質疑で、主なものは次のとおりです。

桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の賦課限度額を変更するものです。

問

地方税法施行令の改正から1年遅れで限度額を引き上げる理由を伺う。

答

また、遅くなった期間の税収減の影響を伺う。
地方税法施行令が通常3月末に改正され、施行日が4月1日ですので、4月1日までに市の条例を合わせる

ためには、専決処分により改正を行うこととなります。

本市では、一定の周知期間が必要と考え、専決処分ではなく、議会の審議を経た改正を毎年1年遅れで行っています。

また、税収減の影響については、国民健康保険税は、現在、赤字の状態です。一般会計からの繰入金で賄っているため、赤字の繰入額が増えることとなります。

問

今後の国民健康保険税値上げの予定を伺う。

答

県の運営方針の中で、令和8年度までに市町村の国民健康保険財政の赤字を解消する目標があります。
また、令和9年に国民

健康保険税率の準統一、令和12年度には収納率にかかわらず、県内の市町村全てが同じ税率とする目標を定めています。
令和5年度決算の段階で2億円超の赤字があり、その赤字を解消するためには、令和8年度には国民健康保険税を引き上げざるを得ないと考えています。
結果、令和8年度、令和9年度と段階的な引上げを検討しています。

人事関係

教育委員会委員を
同意

青木 健志氏

12月定例会の採決結果

◆ 次の議案は全会一致で可決・認定・承認されました。

議案番号	議案名
第58号	令和6年度桶川市一般会計補正予算(第6回)
第59号	令和6年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)
第60号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度桶川市一般会計補正予算(第5回))
第61号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
第62号	桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
第63号	桶川市下水道条例の一部を改正する条例
第64号	市道の路線の認定について
第65号	市道の路線の廃止について

議案番号	議案名
第66号	令和6年度桶川市一般会計補正予算(第7回)
第67号	令和6年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)
第68号	令和6年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第2回)
第69号	令和6年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)
第70号	令和6年度桶川市公共下水道事業会計補正予算(第2回)
第73号	教育委員会委員の任命について(青木 健志氏)
委第1号	桶川市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

◆ 賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません

議案 番号	議 案 名	議決結果	新 政 会				おけがわ未来			立憲、国民、維新の会			公明党			ともに 生きる会		無 党派		
			渡 辺 ま や	砂 川 和 也	糸 井 政 樹	岡 安 政 彦	江 森 誠 一	榊 萌 美	須 山 陽 一 朗	山 中 敏 正	岡 野 千 枝 子	近 本 あ ん な	細 谷 文 人	佐 藤 洋	に い つ ま 亮	仲 又 清 美	渡 邊 広 美	岩 崎 隆 志	北 村 あ や こ	浦 田 充
第71号	市長及び副市長の給与等に関する 条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議 長	○	○	○	○	○	○	欠 席
第72号	桶川市職員の給与に関する条例及び 桶川市一般職の任期付職員の採用等 に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	

一般質問

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

市内の地域公共交通について



糸井 政樹

新政会



問

来年3月に道の駅「べに花の郷おけがわ」が開業するが、この道の駅へのバスのルートはどのような計画になっているのか伺う。

答

当面は、現在のバスルートを維持し、開業後の道の駅周辺道路の渋滞状況等を勘案しながら、道の駅場内への乗入れ時期等について考えていきます。

問

道の駅は地域振興の拠点となる重要な施設だ。道の駅にはぜひ行ってみたいが、車などの交通手段がない方が、バスが行かないと、どうしたらいいのか伺う。

答

車以外のアクセス方法は、民間路線バスや市内循環バス、タクシーといった公共交通機関があります。

問

市内循環バスの最寄りのバス停は生涯学習センター入口のバス停で、道の駅までは徒歩3分程です。

答

市内循環バスの試験運行から本格運行への移行が全くされていないが、どのような計画になっているのか。コロナ禍を経て利用状況も安定してきました。本格運行へは、道の駅開業に伴う乗り入れ時期に合わせて、地域公共交通会議の中で協議を進めていきます。

問

桶川市の教育について

現在SNSが発達する中、日本語が乱れていると言われている。文化庁も承知しか

ねるとしている、「ら抜き言葉」や、間違った言葉使いなどについて、どう対応をしているのか。

答

例えば、食べられる等の可能動詞と食べれる等のら抜き言葉の違いについては、国語科の授業で学習しています。

問

他にもヤバイ、ウケる等の日本語におけるスラングや、役不足、失笑する等の本来とは違った意味で使われやすい言葉、二重敬語といった間違った言葉使いについても指導を行っています。

答

スラング、いわゆる俗語は、多用途に良いとされる理由を伺う。一点目は、異なった解釈をされること。

二点目は、文書等の書き言葉や授業において軽率と捉えられる可能性があること。

三点目は、尊敬や礼儀の欠如とみなされる可能性があることです。

「事故は待ってくれない！」 今こそ迅速な対応を！



渡邊 光子

無会派



問

現場は手押し信号の上部に隣地の枝がかり、信号が見えづらい。通学路でもあり雨天時には登下校中児童の雨傘が枝にかかる状況だった。

8月に市民の訴えを聞き、直後に当市の道路河川課職員と一緒に現場を確認して現場の枝の伐採をお願いした。しかし、11月12日になっても対応に変化がなく道路河川課職員に「現場へすぐ来るように」と言い、一緒に現場の再確認をした。道路河川課職員は「上尾警察、当市の安心安全課及び道路河川課が立ち会いの上に、上尾警察で解決する事になっていた」と言う。その後、上尾警察は5回地主に会いに行き、道路河川課職員は4回地

されるのか。

答

管理職以外の職員には時間外勤務手当が支給され、管理職員には時間外勤務手当は支給されません。

問

警察署及び道路河川課は、地主へどのように対応するのか。

答

警察署は、公安委員会が管理する信号機に隣地の枝葉がかり見えづらいので信号機にかかる枝葉の剪定指導を行う役割を負い、道路河川課は、道路上に越境した枝葉の剪定指導を行う役割を負います。結果、警察が代表して土地所有者へ剪定指導を行うことになったものです。

問

一定の条件を満たした枝葉の切り取りは、地主に先んじてできるように法律も変わった。市民の安心安全を守る早い解決を。

答

時間がかかり申し訳ないと思いますが、ご理解を。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

道の駅「べに花の郷おけがわ」について



細谷 文人

立憲、国民、維新の会



問

全国1222番目、県内21番目の道の駅。販売予定物品等の準備状況を伺う。

答

順調に進んでいます。

問

川田谷地区はスーパーがない。生活必需品は提供されるか。

答

その予定です。

問

市民の雇用状況を伺う。

答

市民を優先募集しています。200名程の採用を見込み、地域の雇用を創出します。

問

交通弱者の来場に支援はあるか。

答

路線バスや市内循環バス、駐輪場があります。

問

道の駅構内にバス停は準備するか。整備はしますが、

問

乗り入れ開始は、開業後の混雑も懸念されます。今後検討します。

答

現状、最も近いバス停から徒歩3分というが、240メートルにもなる。高齢者の足では何分か伺う。

答

具体的には試算していません。

問

事業の黒字化計画を伺う。

答

直営で維持管理運営し、再委託等による諸経費を抑える方針です。

「防災道の駅」について

問

防災道の駅と道の駅の違いについて伺う。

答

防災道の駅は国の制度で、広域的

な防災拠点の機能を持つ道の駅です。

問

防災道の駅が果たす役割を伺う。

答

支援活動に必要なスペースを提供し、支援部隊の集結やベースキャンプ機能を担い、物資の集散拠点機能を行うことなどです。

問

防災意識の啓発に、コンテナ型トイレなど常設し、市民に利用してもらうことはできるか、伺う。

答

1月に総合防災訓練を開催しますが、議員の提案もやっていきたいと思っています。

問

ドローンは、飛行区域を厳しく制限されているが、川の上空は禁止されていない。本市の道の駅は、荒川、

江川など川に隣接しているため、ポートにふさわしいと思う。ドローン

ポートの計画はあるか。

答

和歌山県の防災道の駅では、物資配送の実験があり、本市も研究します。

地震に強い「桶川市」をアピールして他市からの流入を推進するについて



岩崎 隆志

公明党



問

関東大震災の際に桶川市が比較的被害が少なかった理由を伺う。

答

関東大震災は正12年9月1日に相模湾を震源として発生し、当時の東京府を中心に未曾有の被害をもたらしました。

本市の被害状況は、桶川市史によると、台地と

低地など地層の分布状況により揺れ方に違いがあったものの、家屋の倒壊率は県内の他の地域と比べて低かったようです。

この要因は、地域の大

半がほぼ平坦な関東ローム層から成る大宮台地となっており、

りますが、震源から100キロ以上離れていたことが大きく影響しているものと推察しています。

問

首都圏へのアクセスがよい桶川市の住環境のよさや手頃な土地価格について伺う。

答

本市は、自動車による広域へのアクセスのよさ、桶川駅から東京駅まで約46分に着するなど、鉄道によるアクセスにも恵まれています。

また、土地区画整理事

業や地域幹線道路の整備により、坂田地区や日出谷地区を中心に、民間による分譲住宅などの宅地開発が見受けられます。

地域における宅地開発

の状況や転入者が転出者を上回る社会増をみま

す、住宅地としての土地

価格は一定程度評価され

ているものと思います。

問

雨水管の能力を超えたときの雨水貯留施設の計画について、どのように検討しているか。

答

気候変動に基づく降雨量を算定し、浸水シミュレーションを行い、内水浸水想定区域図を作成して浸水リスクを評価します。この情報を基に、短期・中期・長期の浸水対策区域を決定し、雨水管理総合計画を策定します。これにより、段階的な対策を講じることで浸水対策を進めていく方針です。



議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

投票率向上のための取組について



渡邊 広美

公明党



問 不在者投票の電子申請導入について伺う。

答

新たな請求方法として、マイナンバーカードを利用したオンラインによる電子申請が導入されています。

問

本市に選挙権があり、他地域で投票ができる不在者投票の取組について伺う。

答

ホームページへの常時掲載、広報なども活用し周知します。

問

投票支援カードの導入について伺う。

答

投票支援カードはホームページから印刷し、必要な支援事項、例えば車椅子介助、代理投票などを記入し提示することで、スムーズな投票支援が可能となるため前向きに検討します。

誰ひとりも取り残さない防災、減災の対策について

問

高齢化が進む中、避難行動要支援者が年々減っている。令和6年度の登録者は239名、自治会平均3名となることから、必要としている方に登録の仕方が周知されているか伺う。

答

広報において定期的に掲載を行い、周知を図ってまいります。

問

ペット同行避難パンフレットの周知について伺う。

答

自治会への回覧、狂犬病予防接種や防災訓練などの配布を検討します。

問

専門家からのペット防災講座の開催について伺う。

答

ペットを飼っている方も気づかない点に気づくことができる、貴重な機会となるものであり、開催に向けて検討します。

子育て支援の促進、産後ケア事業について

問

児童生徒の児童館利用への交通費支援のため、同じ建物にある老人福祉センター巡回バスを夏休み期間中、児童生徒も利用できるか伺う。

答

老人福祉センターを指定管理委託しており、対象部署等と協議します。

問

赤ちゃんの安全確保と産後デイサービスをするスタッフの負担軽減として、呼吸器センサーの購入費助成について伺う。

答

デイサービス型を継続していただく施設のご意見として受け止め、現状把握を含め協議します。

地域産業の振興に向けた道の駅開業について



砂川 和也

新政会



問 新たな道の駅登録、契約者が必要と考えるが市の見解は。

答

新たな登録や契約者の増加は地域振興に重要です。周知は道の駅、市のホームページ、広報で行い、登録は指定管理者が行います。

問

6次産業化の進捗状況を伺う。

答

生乳の6次産業化を進めるため、市と市内酪農家、道の駅事業者の3者が連携して牛乳プラント事業者と確保策を実施しました。今後も6次産業化とブランド化に取り組みます。

問

開業後の地域産業の振興に向けた推進体制の考えを伺う。

答

桶川市商工振興計画の改定作業を進めています。また、商

問 工振興委員会で様々な分野の意見を集約し、商工会、市民、商工業者が役割を担い、連携して地域産業の振興に取り組んでまいります。

答

いずみの学園及びいずみの家の跡地利用について

問

解体後の跡地の方針を伺う。

答

現時点では、用地の売却も含めて跡地利用は未定です。

問

移転後の循環バスについて伺う。

答

いずみの学園移転後も学園周りで市内循環バスのルート変更は考えていません。

問

解体後の跡地利用の考えを伺う。維持管理には費用がかかりますが、

地域で活用されれば負担軽減につながります。地域からの相談があった際は、検討していきます。

強盗犯、窃盗犯から市民の命を守るために

問

市民の命を守るために必要と思われる情報周知と対策を伺う。

答

全国の強盗事件に関する防犯対策を市民に周知しました。ホームページや情報メールで注意喚起を行い、施錠の徹底や現金を置かない事、不審な場合は110番通報を行う事が有効です。

問

防災無線の活用を考えを伺う。

答

人命に関わる内容は、警察と連携し防災無線を活用します。

問

市長が直接発出する考えを伺う。

答

市民を守る為に重要な事案が発生した場合には、防災無線を活用して市民の皆様へ直接メッセージを発信したいと考えています。

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

一般質問

駅西口デッキバリアフリー化、 予算化を求む！



浦田 充

ともに生きる会



問 駅西口デッキは、今年度の修繕工事後、何年供用する計画か。

答 今回の修繕工事は、橋の長寿命化及び橋の修繕架け替えにかかる費用の縮減を図ることを目的とした桶川市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の修繕工事で、今後の具体的な供用年数の計画はありません。

問 長寿命化することとで、デッキの耐用年数も伸びる。そうすればエレベーターを設置できるのではないか。

答 駅西口のリニューアルに合わせ、無駄のないように市のほうとしても考えたいので、今は申し上げられませんが、これから何年でバリアフリー化の

見通しが出てくるのか。

答 東口の見込みが立ち次第、検討に速やかに入っていきたいと考えています。

問 本場にバリアフリーにしたいと思

つたら、今から調査しなければならぬ。来年度予算に、エレベーターの設置費用、調査費用などでも計上できないか。

答 予算の時期にないかと考えています。

内部で検討させていただければと考えています。

投票しやすい環境づくりを

問 東西の拠点となる公共施設に共通

投票所を設置できないか。

答 共通投票所は、投票日当日に期日

前投票と同じように投票区に関係なく選挙人が投票できる投票所です。しかし、二重投票防止の観点から、市内の全投票所にネット回線の敷設を要し、多額の費用を要することなどから、設置については慎重に研究します。

問 自分の投票区の投票所での投票が

困難な方が、別の投票可能な投票所で投票することを可能にできないか。

答 個人の方を限定して投票区を変更することは、混乱のおそれがあり、慎重に検討する必要があります。また、公平性等の観点からも難しいと考えています。

問 投票済証を例え

ば、小中学生が考えたデザインにするなど、選挙への関心が高まるように、投票済証を工夫できないか。

答 選挙のたびに毎回変更するのは難しいかもしれませんが、可能な範囲で工夫していきます。

#乳幼児 #保育園 #性被害 #ごみ拾い



近本 あんな

立憲、国民、維新の会



問 6月議会に続き、乳幼児が異物を喉

に詰まらせた時の対応を、乳幼児健診の場で講習すべきと考えるが、検討状況を伺う。

答 実技を伴う講習は、受講者の手技が適切に行われているかを確認しながら進める必要があります。

1回あたりの受講可能人数や時間等を考慮した講座として実施する必要があることから、現在も調査、検討を続けています。

問 乳幼児健診で窒息時の救命方法の講習を実施することについて、現在の課題は何か。

答 一回あたりの受講者の人数や会場の設定、講師の選定、日程調整などです。

問 まずは乳幼児健

診の場で映像を流して、保護者に見てもらう事もすぐに出来る事だと思

う。が、見解を伺う。

答 視聴者が動画をみてイメージが図れるという点において効果的な手段と考えています。



保育所での性暴力について

問 3月議会

で、保育所での性被害防止のための設備等支援事業について質問したが、現状を伺う。

答 民間の保育施設に、補助金の活用について調査を行うなど、来年度予算編成において検討を行っています。

問 どのくらいの保

育園が、補助金を活用したいと申し出ているのか伺う。

答 防犯カメラやパ

ーティション設置等に使用したいと、民間保育所の約3分の2から返事があります。

「ごみのない桶川市を作るために」

問 ごみ拾いをして

くれている方を広報等で紹介し、市民によるごみ拾いを推奨すべきと考えるが見解を伺う。

答 市民の意識啓発につながるものと認識しており、ご提案内容を含めて啓発に努めます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

安心して暮らせる住環境について



仲又 清美

公明党



問 特定再生資源屋

外保管業（スクラップヤード）に関する規制について、先の議会質問で、ヤードの管理が悪く、安心して住めないとの声を受け、本市の条例制定の方向性を伺ったが、このたび、「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」が、2025年1月1日より施行されることになった。この条例の周知について伺う。

答 県条例施行前に

ホームページに概要等を掲載し、広報にもお知らせする予定です。

問 条例施行後、事業者の適正な管理等、市が指導や注意をする権限があるのか。

答 規制の権限は、

埼玉県知事や埼玉県

事業者の情報を埼玉県に提供し、適切に条例が運用されるよう協力します。

問 今夏のゲリラ豪雨で、坂田の小松

団地では、初めて床下浸水が起きた。市街化区域の防災対策を伺う。

答 雨水が速やかに

側溝を流れるよう堆積調査をし、側溝清掃を行うことや、側溝蓋をグレーチング蓋に交換するなど、考えています。

小松団地は、側溝蓋を

数か所、グレーチング蓋に交換しました。

問 小さな声に耳を傾けた
思いやりのある支援について

答 公園のトイレ利

用者から、高齢者等は、和式はもとより、洋式便所でも立ち上がり

が困難で、手すりが必要と要望があった。各都市公園のトイレの現況と手すりの設置状況を伺う。

答 現在、都市公園

のトイレ66か所中、

和式は6か所、洋式では26か所に手すりを設置しています。シルバー人材センターが、より快適に利用できる公園を目指すため、年に数か所、手すりの設置やトイレの洋式化を行っています。

問 市民ホールのト

イレの手すり設置についても伺う。

答 設置されていな

い、各階のトイレの手すり設置は、県と市と増設に向けて検討してまいります。

問 支援のない若年

末期がん患者の在宅療養生活支援制度の創設について、市長は、早期実現に向けて前向きに検討すると、答弁した。

答 現在、来年度の

実施に向けて検討しています。

2025年問題から考える地域を支える人の不足の解消について



にいつま 亮

立憲、国民、維新の会



問 2025年問題とは、市の見解を伺う。

答 2025年問題とは、

国民の5人に1人が75歳以上の後期高齢者となる超高齢化社会を迎え、雇用、医療、福祉といった日本経済や社会の広い領域に深刻な影響を及ぼす諸問題を言います。

問 市に与える影響

について伺う。

答 2025年を迎えるに

あたり、桶川市の高齢化率は、令和6年4月1日時点で30%を超え、高齢化はさらに進行していく見込みです。

その中で、桶川市でも社会保障費の負担は大きくなり、医療、介護の需要はさらに増大することから、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保

される地域包括ケアシステムを段階的に構築してきました。

問 対策の成果と課題について伺う。

答 成果については、

地域包括ケアシステムの事業として、以下の3点を実施しています。

1点目は、医療と介護をつなぐ支援を行う在宅医療連携センターの設置。

2点目は、地域包括支援センターにて、高齢者の総合的な相談等の実施。

3点目は、認知症対策として、認知症初期集中支援チームを立ち上げ、認知症サポーターの拡大に取り組んでいます。

人の現役世代が1人の高齢者を支えることが予想され、本市においても同様な状況になると思われます。そのため、様々な所で人材不足、財源不足がさらに深刻化していくものと考えています。

2点目は、住み慣れた地域で末永く暮らせるよう社会資源を増やし、サービスをできるだけ自由に選べるよう選択肢を増やしていく必要があると考えます。

問 今後、この問題

を解決していくために、地域を支える人の不足の解消が必要になるが市の見解を伺う。

答 地域を支える人

の不足の解消については、地域包括ケアシステムの中でも目指しており、自助、互助、共助、公助を組み合わせた仕組みづくりが重要であると考えます。そのため、誰もが地域で関われるよう、既存の事業を含め、地域の活動について検討していきます。

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

一般質問

令和7年度当初予算編成の概要について



江森 誠一

新国会



問

令和7年度当初予算計上にあたっての留意点について伺う。

答

留意点としては社会保障経費、物

価高騰、公共施設老朽化対策、ごみ処理施設整備事業などがあります。どれも先送りできない着実な対応が求められ、予算編成に当たり見込める財源はしっかりと見込むと共に、他の事業に影響を与えない様、必要最小限度の調整を図ります。

問

公共施設の老朽化対策やごみ処理施設整備事業の予算組で起債活用の考え方を伺う。

答

ハード事業である公共施設老朽化対策やごみ処理施設整備については、地方債を活用し、活用に際しては、様々な地方債のメニュー

問

があるので、事業構築を工夫し可能な限り交付税算入のある財政的に有利な地方債の活用を図っていきます。

問

ごみ処理施設整備事業は、一部事務組合で事業を実施するので、実際の借入は組合で行う事となります。

答

国庫支出金や地方消費税交付金が財源となる社会保障経費は、どの位上がると見込んでいるのか伺う。

問

対象となる経費は、社会福祉費、児童福祉費、生活保護費、保健衛生費の4つです。

これらの社会保障経費を除き50億円ほどの一般財源が必要です。一般財源については、毎年1億から2億位の幅で伸びて

いるので、令和7年度も同程度は増加するものと考えています。

問

財政力指数が下がり続けているが、改善に向けた取組は行っているのか伺う。

答

人口減少に伴う市税収入の減少が見込まれる中、安定的な財政運営を行うため、自主財源の確保が必要です。

その観点から、人口減少抑止に向けた諸施策の推進や企業誘致などにより、市税の確保を図ることが、指数改善に向けた有効な手段だと考えています。

交通安全対策について

問

市道2013号線である西側大通り内の横断歩道路面標示設置について伺う。

答

本市としても、改めて警察に対して、横断歩道設置の要望を行ったところです。

ふるさと納税について



榊 萌美

おけがわ未来



問

令和5年度の実質的な収支について伺う。

答

寄附額は2,105万6,000円、市民税の減少額は約1億9,900万円。委託料や返礼品の費用が930万円程度、流出額の75%が交付税措置され、実質的な減収分は3,800万円です。

問

ふるさと納税を行う際、寄附者が具体的な事業を選択でき、その後どんな事業に寄附金が活かされたか分かるよう、示せるか。

答

寄附金がどのように使われ、またどのように使われたのか分かるよう、サイトのレイアウト等を工夫します。

問

プロジェクト型のガバメントクラウドファンディングについて見解を伺う。

答

ふるさと納税は、自治体がまちづくりの方向性や施策などを示し、その自治体を応援したい方が寄附をするものです。ガバメントクラウドファンディングは、寄附金の使途となる具体的な事業に共感いただける方々から寄附を募るものです。本市では、これまでガバメントクラウドファンディングを実施しておりませんが、対応できる案件が出た場合、積極的に活用します。

問

桶川市人材育成基本方針の取組期間は令和8年度までだが、新たに策定されるのはいつか。

答

現行の取組期間の終了までに仕上げたいと考えています。

問

政策形成能力を高める研修は行われているか。

答

現在は実施していません。

問

政策形成能力を高め、働きがいを感じてもらうために政策形成研修を実施できるか。

答

実施団体の情報等を集め、政策課題研修を実施したいと考えています。

職員の働きがいについて

問

人事評価と昇給、勤奨手当等の処遇について伺う。

答

現在は、人事評価結果を昇給や勤



議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

保育料第一子から無償化へ向けて



渡辺 まや

新政会



問

市長に伺う。子ども家庭庁令和7年度予算概要に、幼児教育・保育の無償化があり、予算編成過程において検討予定とのこと。保護者の経済状況や第何子などに限らず、保育料第一子から無償化を目指してもらえないか。

答

今後考えていきます。

答

子育て世帯への経済的支援として、保育料無償化は重要な施策の一つであると私も考えています。保育料の無償化も含め、さらなる子育て支援に取り組んでまいります。

問

本市のコロナワクチンによる体調不良は判断基準や治療方法が確立されていません。

答

本市のコロナワクチン健康被害救済制度の認定状況を伺う。資料の通りです。

問

情報格差解消のため高齢者へのスマートフォン購入費用の補助を

現在、本市では2種類のスマホ講座が開催されており、

座が開催されており、

	年代	申請年月	結果	認定内容
1	30代	R3. 7月	認定	医療費類
2	50代	R4. 4月	認定	医療費類
3	80代	R4. 4月	認定	死亡一時金 葬祭料
4	20代	R4. 5月	認定	医療費類
5	50代	R4. 5月	認定	医療費類
6	60代	R4. 6月	認定	医療費類
7	80代	R5. 7月	認定	死亡一時金 葬祭料
8	30代	R6. 2月	審査中	
9	80代	R6. 7月	審査中	

問

市内医療機関から報告されている副反応疑いの症状内容を伺う。

答

発熱、倦怠感、上腕部の疼痛、発疹、ぜんそく発作、血小板減少性紫斑病、腎機能低下、肝障害などです。

問

定期的な防災訓練が防災力とコミュニティの強化に

防災時などの情報共有のため、自主防災組織から地域住民の方たちへの連絡方法を今後課題として取り入れてもらえないか。

答

自主防災組織の代表者会議や講習会で話し合いができるよう調整します。

問

地域の実情はあるが、1年に1回の防災訓練を市の方で推奨していけないか。

答

自主防災組織の会議の中でお伝えしていきます。

桶中は、教師が被害生徒のいじめを あおめるのか



北村あやこ

ともに生きる会



問

被害生徒のケガが増えている。

答

桶川中学校男子バスケクトボール部のケガは、全部で11件、そのうち当該生徒のケガは5件です。

問

文科省に問い合わせた。顧問や管理職は、ケガをする生徒に体力をつける、ぶつかった者にはボールの操作、お互いのかわし方など、原因を探り、トレーニングをする、と教わったが、やっていない。それどころか、保護者が医者に連れて行くのは当たり前と、生徒をそのまま帰している。これが当たり前か。

答

誠に憂慮しています。教師がいじめを助長することは、人を育て、教え諭す職にある者があつてはならないと思います。

私も何回となく校長、教頭、直接教職員に講義をしています。旧態依然とした部分を変えるのは難しいと思っています。学校の考え方、教職員のありべき姿を、研修等で

月、教師が悪かったと生徒に説明していない。被害生徒に内緒で別の場所で練習し、ラインも外され、何度もケガだ。顧問は、「お前がそういうことをやったから当たり前だ」と傷に塩、完膚なきまでに被害生徒を打ちのめしている。教育長、この現状をどうするのか。

答

言は、訂正させていただきます。

問

ケガ放置から7か

指導していきます。

問

高圧線のある勤労青少年ホーム跡地に保育所を移設する計画が出ています。電磁波下で、子育てをしよう、と思う人がどこにいるのか。

答

北及び坂田保育所は築後40年以上経過し、防災面や安全性のため、新築移転を計画しています。経済産業省やWHO(世界保健機関)は、健康上の問題はないと示しています。

問

それは違う。WHOは、小児白血病に電磁波との因果関係の可能性を、IARC(国際がん研究機関)は、発がん性のリスクがある2Aに、まとめられている。

孫や子どもをあそこに通わせるかと、職員に聞くと、返事はなかった。高圧線下の保育所はやめていただきたい。

答

WH Oや法令も含め、確認します。

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

一般質問

南小跡地利活用における情報共有と 市民参加戦略について



須山陽一郎

おけがわ未来



問

これまでの検討状況や進捗状況について、どのように情報開示をしているか伺う。

答

市民アンケートや企業ヒアリング、南小跡地等の課題をまとめた結果は、令和6年の5月より市ホームページに掲載しています。

問

市民意見聴取の具体的な手法と実績について伺う。

答

令和5年9月から10月にかけて、寿1丁目と南1丁目にお住まいの方から100名を無作為に抽出し、アンケート調査を実施しました。

また、おおむね同じ時期に市民3,000名を無作為に抽出したアンケート調査や、今年の1月に計4回開催したパネル展示及び対面での説明などによるオー

問

プンハウスを実施しました。

答

オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型の情報共有計画などができる、幅広く市民の参加につながると思うが、市の見解を伺う。

答

自宅などから気軽に参加しやすい、なるオンライン形式と、コミュニケーションが取りやすく、ご意見をいただきやすい対面形式を組み合わせることは、事業の情報共有における有効な手法の一つと考えています。

問

桶川市における多文化共生の現状について

直近5年間の国籍別の外国人住民

答

数の推移について伺う。

令和6年度、本市における外国人

住民数は総数131人となっており、年々増加傾向です。令和2年の同時期と比較いたしますと480人の増となっています。国籍別につきましては、中国

問

ベトナム、ネパール、フィリピン、韓国が上位5か国となっています。

答

市内における外国人の方の犯罪率等はどのように変化しているのか伺う。

問

伊奈町の2市1町の外国人の刑法犯認知件数の推移は、年間20件前後では横ばいです。

答

治安に関する相談や不安の声などは、市のほうに届いているのか伺う。

市民の方から窓口や電話などで、外国人の治安に関する相談や不安の声などは受けていません。

また、上尾警察でも把握していないところです。

第18回 議会報告会を開催しました



懇談会の様子

新ごみ処理施設整備とごみ処理方法について、参加された市民の方と活発な意見交換を行いました。



懇談会の様子

東口を中心とする駅周辺開発について、参加された市民の方と活発な意見交換を行いました。

令和6年11月9日（土）に桶川市市民活動サポートセンターで開催し、25人の方にご参加いただきました。9月定例会の報告の後、2つのテーマに分かれて市民と議員の懇談会を行いました。

議会報告会のアンケート集計結果や、懇談会での意見等は、市議会HPでご覧いただけます。



常任委員会の活動報告

委員会視察・意見交換会の様子をご紹介します! //

総務常任委員会

10月7日・千葉県流山市
「流山市ブランディング
プランについて」



11月15日・意見交換会
「株式会社ミックスパブリッ
クビジネス（桶川市民ホー
ル指定管理者）」



民生経済常任委員会

10月10日・愛知県小牧市
「こまきこども未来館整
備運営事業について」



10月11日・愛知県大府市
「介護予防事業について」



建設文教常任委員会

10月3日・長野県諏訪市
「上諏訪駅周辺まちなか
未来ビジョンについて」



10月4日・長野県長野市
「教育センターSasa
LANDについて」



議会運営委員会

10月30日・宮城県大崎市
「議会改革の取組みにつ
いて」



10月31日・宮城県柴田町
「議会改革の取組みにつ
いて」



市議会の常任委員会は、令和6年10月に先進地を視察しました。視察の報告は、令和6年12月定例会で、各常任委員会の委員長が行っています。また、常任委員会では、それぞれの所管事務に関わる市内の団体と、意見交換会を実施しています。意見交換会の報告は、直近の定例会で、各常任委員会の委員長が行います。

委員長報告の様子は、右のQRコードからご覧いただけます。





表紙の写真を募集中!!



「撮影者 島田 純子 様」



「撮影者 内田 昌明 様」

『おけがわ市議会だより』の表紙に市民の皆様からの写真を募集します。
応募規定など詳しくは、隣のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取って、ご確認ください。



定例会のお知らせ

3月定例会は令和7年2月19日(水)
9時30分開会で、会期日程は以下の
予定です。

(※都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

2月 19日	開 会 日
2月 20日	本 会 議
2月 26日~ 28日	常 任 委 員 会
3月 3日	本 会 議
3月 4日~ 7日・10日	常 任 委 員 会
3月 11日~ 13日・17日	一 般 質 問
3月 18日	本 会 議
3月 21日	本 会 議
3月 25日	閉 会 日

議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の
議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコード
から検索してください。

桶川市議会スマート中継

検索



12月議会本会議傍聴者数 インターネット議会中継閲覧数

月日	12/3	12/11	12/12	12/13	12/18	合計
傍聴者数	0	11	12	20	1	44
閲覧数	251	674	692	1,007	377	3,001

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により

声の市議会だより(紅花の会)

点字版市議会だより(点字レモンの会)

を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211(代表)

788-4963・4964(直通)

表紙の写真

山伏の寺 本学院の節分行事

齋藤山本学院は修験道の寺です。元和年間
(1615~1624)に坂田村へ移住した初代栄祐が
開山したと伝わります。修験道は、日本古来の
宗教や仏教などを取り入れた実践的儀礼を重ん
じるもので、修行を行う修行者は山伏とも呼ば
れます。毎年2月に行われる「節分会」には、多
くの参拝者が訪れます。

編集後記

年の瀬に向けて慌ただ
しい12月議会が無事終了
し、年が明けて2025
年も本格的に動き出しま
した。

今年は物価高やエネル
ギー問題など、市民生活
に影響を与える課題が山
積する中、桶川市議会と
しても更なる取組が求め
られます。

2月には節分やバレン
ティンといった季節行事
も控えています。まずは
市民の皆様が安心して
暮らせるまちづくりに向
け、引き続き尽力してま
いります。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

(榊 萌美)

議会だより編集委員会

委員長	にいつま亮
副委員長	浦田 充
委員	渡邊 広美
委員	渡邊 まや
委員	砂川 和也
委員	榊 萌美
委員	佐藤 洋
委員	渡邊 光子